

公共スイミングプールの再開手順

最新の更新内容（変更箇所は黄色で強調表示）：

2/17/21:

- ・ 屋外のプールは従業員とプール使用者が世帯外の人から 6 フィートの物理的距離を保ち、プールに入っていない時はフェイスマスクを着用している時のみ、日常的な使用目的で運営できる。
- ・ 屋内のプールは溺死事故防止クラスと水中療法（水治療法、プール療法）の時のみ運営できる。

ロサンゼルス郡公衆衛生局は、公共、全てのビジネス所有者、コミュニティ組織、そして住民に、ビジネス、レクリエーション活動、そして公共の場所の再開をサポートする上でお手伝いしています。本手順内の必須条件に加え、水泳に関する若者と成人のレクリエーションスポーツ手続は次のリンクからご覧ください：

http://publichealth.lacounty.gov/media/Coronavirus/docs/protocols/Reopening_SportsLeagues.pdf 公共プールには、キャンプ場プール、クラブプール、商業プール、ヘルスクラブまたはフィットネスクラブ、ホテルのプール、認可されたデイケア施設のプール、医療施設プール、ミネラルスプリングプール、モータープール、市営プール、公立または私立学校のプール、レクリエーションまたはモバイルホームパークプール、リゾートプール、特殊用途プール、水泳スクールプールなどがあります。

ホットタブ・ジャグジー・スパプール、ウォータースライダー、遊園地内にあるスプラッシュパッドは、調整または全面稼働を再開できるまで引き続き閉鎖されます。

屋外プールは、日常的な使用に加え、認定インストラクターによる水泳レッスンを含む溺死防止クラス、そして水中療法（水治療法、プール療法）セッション時のみの運営が許可されます。

屋内プールは、認定インストラクターによる水泳レッスンを含む溺死防止クラスと水中療法（水治療法、プール療法）セッション時のみの運営が許可されます。

プールにあるウォータースライダー、乗り物、その他のウォーターアトラクションは引き続き閉鎖されます。

以下の手順で「世帯」という用語は、「一世帯として一緒に住居する人物」として定義され、寮、フラタニティ、ソロシティ、女子修道院、女子修道会、住宅介護施設などの制度上のグループ住居は含みません。また、下宿、ホテル、モーテルなどの商業上の住居状況も含みません。¹ 「スタッフ」と「従業員」という用語は、従業員、ボランティア、インターン、研修員、学者、そしてその他の全ての施設で働く人を含む人物を意味します。「訪問者」と「顧客」という用語は、ビジネスや施設内で過ごす公共市民とスタッフや従業員ではない人物を含む必要があります。「設立物」「施設」「設備」という用語は、建物、土地、そして許可されたアクティビティが行われるいかなる隣接する建物と土地を意味します。

住宅用スイミングプール（アパートのプール、ベッド・アンド・ブレイクファストインのプール、マンションのプール、住宅組合のプール）は、共有住宅施設のプールの再開手順に従う必要があります。

¹ ロサンゼルス郡コード、タイトル 22. §22.14.060 - F. 家族の定義. (Ord. 2019-0004 § 1, 2019.)

https://library.municode.com/ca/los_angeles_county/codes/code_of_ordinances?nodeId=TIT22PLZO_DIV2DE_CH22.14_DE_22.14.060F

本ガイダンスの対象となるすべてのプール運営者は、以下に記載されているすべての適用可能な対策を実施し、対策が実施されていない場合は、それが適用されない理由を説明する必要があります。

注：本文書は、追加情報やリソースが入手され次第 更新されることがあるため、定期的にロサンゼルス郡のウェブサイト <http://www.ph.lacounty.gov/media/Coronavirus/> をアクセスして、本文書が更新されていないかご確認ください。

本チェックリストの内容

- (1) 職場に於ける従業員の健康を保護するための方針と実践
- (2) 物理的距離を確保するための措置
- (3) 感染防止対策
- (4) 従業員及び市民とのコミュニケーション
- (5) 重要なサービスへの平等なアクセスを確保するための対策

施設が再開手順に取り組む際、これら5つの重要点を考慮する必要があります。

本ガイダンスの対象となるすべての企業は、以下に記載されているすべての適用可能な対策を実施し、対策が実施されていない場合は、それが適用されない理由を説明する必要があります。

企業名:

施設住所:

投稿日:

A. 職場に於ける従業員の健康を保護するための方針と実践（施設に該当するものをすべて選択）

- 在宅勤務（職務を異にする従業員には、在宅勤務が指示されている）。
- 脆弱なスタッフ（65歳以上、慢性疾患のある人）には、可能な限り在宅勤務で行うことができる 作業が割り当てられている。
- すべての従業員に、病気のときは出勤せず、該当する場合は公衆衛生局のガイダンスに従い自己隔離を行うよう指示している。
 - 訓練を受けた補填用従業員の名簿を作成する。
 - 従業員には、受給資格があれば経済的に自宅待機しやすくなる、雇用者または行政が提供する休暇給付金に関する情報が提供されている。[ファミリーファーストコロナウイルス対策法](#)に基づく従業員の病気休暇の権利、労災補償給付金に於ける従業員の権利、及び[州知事令 N-62-20](#)に基づく COVID-19 の労働関連の推定を含む、[COVID-19 に於ける病気休暇及び労災補償を支援する行政のプログラム](#)に関する追加情報を参照すること。
- 一名以上の従業員が COVID-19 の検査に陽性反応を示す、もしくは該当する症状を発症（症例）している通知を受けた際に、雇用主はその症例を自宅隔離させ、職場でその症例に曝露したすべての従業員にただちに自己検疫を促す計画または手順を準備している。雇用主の計画では、追加の COVID-19 管理措置が必要となる可能性のあるさらなる職場曝露があったかどうかを判断するために、すべての検疫中の

従業員の COVID-19 検査へのアクセスや、検査の手配をする手順が考慮されている必要がある。

- オーナー、マネージャー、または運営者が 14 日間以内に職場内で 3 件以上の症例を知った場合、雇用者はこの発生を公衆衛生局 (888) 397-3993 または (213) 240-7821、または www.redcap.link/covidreport からオンラインで報告する必要がある。クラスターが現場で特定された場合、公衆衛生局は、クラスターへの対応を開始し、感染対策のガイダンスと推奨事項、技術サポート、及びサイト固有の対策を提供する。公衆衛生局のケースマネージャーがクラスターの調査として配属され、施設の対応を指導する。
- 参加者、コーチ、サポートスタッフが施設に入って活動に参加する前にロサンゼルス郡公衆衛生局の職員に対する検査ガイドに従って入り口検査が行われる。検査には咳、息切れ、呼吸困難、発熱や寒気の有無、及びその個人が現在隔離・検疫命令下にあるかどうかを含める必要がある。これらの検査は対面で、またはオンラインチェックインシステムなどの代替方法、または施設の入りに表示された、これらの症状のある訪問者が施設に入ることは禁じられているという標識によって行われる。
 - その人が症状を持っておらず、現在隔離・検疫命令下になく、過去 14 日間に認知のまたは疑われた COVID-19 の症例と接触していない場合、その日の活動に参加することができる。
 - その人が過去 10 日間に認知のまたは疑われた COVID-19 の症例と接触した場合、または現在検疫命令下にある場合、その人の入場と参加は拒否され、すぐに帰宅して自宅検疫する。次の検疫指示を提供する。 [Ph. lacounty.gov/covidquarantine](http://ph.lacounty.gov/covidquarantine)
 - その人が上記のいかなる症状を現している、または現在隔離命令下にある場合、その人の入場と参加は拒否され、すぐに帰宅して自宅隔離する。次の隔離指示を提供する。 ph.lacounty.gov/covidisolation
- 勤務中に他者と接触するすべての従業員は、鼻と口を覆うのに適切なマスクを提供する。勤務中に他者と接触する、または接触する可能性がある従業員は常時マスクを着用する。医療提供者からマスクを着用しないよう指示された従業員は、個人の状況が可能とする限り州の指示に準拠するよう、下部にドレープの付いたフェイスシールドを着用する。顎の下にぴったりと合うドレープが好まれる。一方方向弁付きのマスクの着用は禁じられる。
- 従業員が一人で個人オフィスにいる時、または飲食中を除き、全ての従業員がフェイスマスクを着用する必要がある。以前許可されていた「立った時の背の高さよりも高いしっかりとした仕切りで仕切られたキュービクル」で勤務する従業員はフェイスカバーを着用する必要はない」とした例外は無効となる。
- マスクが常時正しく着用されているようにするために、従業員は、マスクを安全に取り外して他の人から物理的に離れることができる休憩時間を除き、飲食を控える。飲食する場合は、従業員は常に他の人から少なくとも 6 フィートの距離を取る。可能であれば、屋外で他の人から離れて飲食することが好ましい。キュービクルやワークステーションが従業員間により広い距離や仕切りを提供している場合は、休憩室で食事をするよりも、キュービクルやワークステーションで飲食することが好ましい。
- 従業員が食事や休憩に使用する部屋やエリアは、以下の対策を実施することにより占有率が低下し、従業員間のスペースが最大化されている。
 - 休憩に使用する部屋またはエリア内で個人間の距離を少なくとも 6 フィート確保することができる最大収容人数を掲示する。
 - 食事や休憩に使用される部屋やエリアの占有率を減らすために、休憩や食事の時間をずらす。
 - テーブルを 8 フィート離して配置して、座席間の距離 6 フィートを確保するようにする。収容人数を減らすために座席を取り除くかテープを貼る、距離を確保するために床に目印を付け、対面での接触を最小限に抑えるように座席を配置する。仕切りの使用は、拡散をさらに防ぐために推奨されるが、収容人数の削減、物理的距離の確保の代替と見なすべきではありません。

- 従業員には、**マスク**を毎日洗濯、または交換するよう指示する。
 - 従業員は、水の中に入っているときは、**フェイスマスク**を着用する必要はない。
 - 遊泳者の監視を行っているライフガードには、他者の手洗い、フェイス**マスク**の着用、または社会的距離確保の監視は要求されない。
 - 物理的距離措置の実施を監視する別の従業員をその担当に指名する。すべての従業員は、この従業員の職務を認識し、この人物への連絡方法を把握していなければならない。
 - 休憩室で、常に従業員の間で6フィートの距離を保てるよう、休憩時間をずらしている。
 - 従業員が利用できる消毒剤及び関連用品は以下の場所に常備している。
-
- 従業員が利用できる COVID-19 に対して効果的な手指消毒液は以下の場所に常備している。
-
- 従業員は手を洗うため、頻繁に休憩をとることが許可されなければならない。
 - 各従業員に本手順のコピーを配布している。
 - オプション - その他の対策の説明：
-

B. 物理的距離を確保するための対策

- 屋外プールは日常的な使用目的で運営できる。プール施設の使用を最大収容人数 50%まで制限して、プール利用者が同居者以外の人から**6フィートの物理的距離を確保する。**
 - **許可されるプール利用者最大収容人数:** _____ **利用者最大収容人数の 50%:** _____
 - プールの利用に予約制を實施することを検討する。これには、個人のラップスイミング用のフルレーンの予約、及び個々の家庭用のレーンの予約が含まれる。
 - ラップスイミングは、同居者以外の利用者から6フィートの物理的距離を保つように注意する。水泳者が適切な距離を確保できるように、特定の時間にラップスイミングにレーンを使用できる水泳者の数を制限する。
- 従業員は、プールの使用、休憩、必須事務運営を行う場合、または建物内外に供給品や資源を動かす時、**プール施設内の屋内エリアにアクセスできる。**
- プール利用者は以下の理由以外でプール施設の屋内に入ることは禁じられている：**
 - **個人的に屋内のトイレを使用する場合**
 - **クラスが1回あたり生徒1人に制限された、または水中で物理的距離を維持できる少人数のグループでの認定されたインストラクターによる溺死事故予防クラスに参加する場合**
 - **クラスが1回あたり生徒1人に制限された、または水中で物理的距離を維持できる少人数のグループでの認定されたインストラクターによる水中療法クラスに参加する場合**
- 屋内のトイレの利用を待っている訪問者は、トイレが空くまで屋外で待つ必要がある。従業員はプール施設の屋内エリアを監視して、トイレの収容人数を制限し、屋内のトイレを利用するのに並んでいる訪問者が物理的距離を維持できることを確認する。**
- シャワー、更衣室、ロッカーの使用は許可されていない。**
- プライベートレッスンや水中療法セッションは、適切な物理的距離を使用することで許可される。生徒、インストラクター、またはセラピストは水中にいない場合に常にフェイスマスクを着用する必要がある。**

ある。

- グループレッスンは、全ての活動中に参加者が6フィートの物理的距離を維持できるようにクラスのサイズを制限している場合、許可されている。インストラクターと全ての参加者は水中にいない場合に常にフェイスマスクを着用する必要がある。
- インストラクターはプールサイドから指導する。対面方式または濃厚接触を必要とするクラスでは、親または同一世帯の方が子供と一緒にプールに入ることが推奨される。プールサイドでのグループスイミングレッスンの参加者と観客の間隔は、6フィートの距離を確保する。
- 上記のように、指定された人や人々が、プールサイドまたはプール内の利用者数が最大50%の収容人数を超えないように監視及び確認する責任を持つことが推奨される。また、その担当者達は、すべての暫定ガイドラインが遵守されているか毎日確認を行う。
- 物理的距離（同居者以外の人々から少なくとも6フィート離れる）を確保するための対策を実施する。
 - 州法で義務付けられているように、プールの周囲に4フィートのデッキスペースを確保しつつ、プールサイドのレイアウトを変更して、立ち見席や休憩エリアでは、物理的距離が確保できるようにする。これには、椅子の除去や、使用を妨げるためのテープの貼付が含まれる。
 - 水中及び水に入っていないときに、ゲストや水泳者が少なくとも互いから6フィート離れることができるように、物理的な目印やガイド（例えば、水中のレーンの線、またはプールサイドの椅子やテーブル）と視覚的な目印（例えば、プールサイド、床、または通路にテープを貼る）や標識を用意する。
- 2学期の間に行われる競争のみとして定義される中期競争は、ロサンゼルス郡公衆衛生局の若者と成人のレクリエーションスポーツの手順に従う場合許可される。チームは競技や競争スポーツでの1サイドに集まずプレーヤーとして定義される。
- プールを含むすべての公共エリアでのパーティーや集会を禁止する。

C. 感染防止対策

- プールを訪れる訪問者は、プールや施設内では常時（水中にいる時を除く）フェイスマスクを着用することを促される。これは6歳と2歳以上の子供すべてに適用される。医療提供者によってフェイスマスクを着用しないよう指示された個人は、個人の状況が可能とする限り州の指示に準拠するよう、下部にドレープの付いたフェイスシールドを着用する。顎の下にぴったりと合うドレープが好まれる。一方向付きフェイスマスクの着用は禁じられる。従業員と訪問者全ての安全を確認するため、フェイスマスクを持たない訪問者が利用できるフェイスマスクを用意する。
- 上記のように施設に入ってアクティビティに参加する訪問者が施設に入る前に入り口での症状確認が行われる。この確認は、咳、息切れ、呼吸困難、発熱または悪寒、及びその個人が現在隔離・検疫命令下にあるかどうかを含む必要がある。これらの症状確認は直接、又はオンライン症状確認などの代替方法や、または施設の入り口に標識を置いてこれらの症状を持つ、または現在隔離・検疫命令下にある訪問者の入場を禁じる事を知らせる。
- プールの安全性チェックを実施して、プールの化学成分が消毒に適切な状態であり、プールの安全装置が検査されていることを確認する。
 - 適切なオペレーションとメンテナンスは水中のウイルスを不活化する。
 - プール施設を設計した会社または技術者に相談して、どのEPAによって承認されたリストN消毒剤がプールに最適かを判断する。

- 稼働していない施設の場合は、再開する前に5分間温水器具と冷水器具を通水して、施設の配管内の古い水を新鮮で安全な給水に置換する。
- 頻繁に触れる物の表面と共有する備品を使用の度に、清掃と消毒する計画を実施する。EPA承認の消毒剤を使用する。以下は、次のスケジュールで1時間ごとに清掃及び消毒を行う。
 - 手すりとスライド _____
 - ラウンジチェア、テーブル _____
 - ドアノブ及びトイレ、手洗いステーション、おむつ交換ステーション、シャワーの表面 _____
 - キックボードとプールヌードル _____
 - 共用施設 (ロッカーなど) _____
 - トイレとシャワー _____
 - その他 _____
- 公衆衛生をサポートするために十分な衛生用品を確保する。衛生用品には、石鹼、アルコール濃度60%以上の手指消毒剤、ペーパータオル、ティッシュ、及びゴミ箱が含まれる。
- 掃除や消毒が必要な家具（例：ラウンジチェア）やその他の共有アイテムが、既に洗浄・消毒された家具やその他の共有アイテムとは別に保管されるようにシステムを設定する。
 - 使用前に、共有の家具、機器、タオルの汚染防止を強化する。
- 水飲み場はカバーをかけ使用できないようにしている。
- プール利用者が物を共有しないよう促す。特に、掃除や消毒が困難な物、または顔に触れる物（ゴーグル、ノーズクリップ、フェイスシールドなど）の共有を避ける。
- キックボード、プールヌードル、その他の浮遊用具など、プール利用者に適した設備が施設にあることを確認し、可能な限りの共有を最小限に抑える。一度に一名の利用者に使用を制限し、使用するたびに洗浄・消毒する。
- 各自、自分のタオルをプールに持参し、家族以外の人とタオルを共有しない。
- 製造元の指示に従ってタオルを洗濯する。最も適切な水温を使用し、完全に乾燥させる。
- 屋内スペースの換気システムが適切に作動していることを確認する。可能な限り、換気を最大限に高める。
 - ポータブル高効率空気清浄機の設置、建物のエアフィルターの最大設定、及び外気の量の増加、オフィスや他のスペースの換気を増やすためのその他の変更を加えることを検討する。

D. 一般市民とのコミュニケーション対策

- 本手順のコピーを、施設のすべての公共の入口に掲示している。
- プール施設の各公共の入り口に標識を掲示し、プール利用者に以下を通告している。
 - 病気の場合、または COVID-19 と一致する症状がある場合、**または現在隔離・検疫命令下にある場合は**外出しない。
 - 同一世帯ではない人から6フィートの**物理的**距離を可能な限り維持し、プール内で不必要な身体的接触を行わないようにする。

- プール施設に入る際に手を洗う、または消毒剤を使用する。
- プールや共有トイレとの行き来を含め、施設の公共エリアを移動する際に、フェイスマスクを着用する。水に入る際には、水泳者にフェイスマスクを取り除くよう促す。

E. 重要なサービスへの平等なアクセスを確保するための対策

- 顧客・居住者にとって重要なサービスを優先している。
- 移動が制限されている、または公共スペースにいて病気になるリスクが高い方のためサービスへのアクセスを保証するための対策を講じている。

社会的距離措置および施設や物の表面の消毒手順に関するアメリカ疾病予防管理センターのガイダンスは、<https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/community/parks-rec/aquatics-renewal.html> (Author 1589978994218) をご覧ください。

削除済み - 無効